



頑張る学校・地域！応援プロジェクト「学校と地域の連携推進モデル事業」

栃木県教育委員会では、今年度から新たに「**頑張る学校・地域！応援プロジェクト**」を開始しました。本プロジェクトには、体制及び活動づくりのために各教育事務所が実施する「**学校と地域の連携推進モデル事業**」と、総合教育センターが実施する「**地域学校協働活動推進員養成研修**」があります。今回は、上三川町教育委員会とモデル校である本郷中学校、明治小学校の協力を得て実施する「**学校と地域の連携推進モデル事業**」について紹介します。

学校と地域の連携推進モデル事業

- 1 目的 新学習指導要領の理念である「**社会に開かれた教育課程**」を実現するため、「**地域とともにある学校づくり**」及び、「**学校を核とした地域づくり**」の充実を図る。
 - ・ 子どもたちの豊かな人間性や主体的に考える態度を育む。
 - ・ 子どもの学びを支える地域の教育力向上を図る。
- 2 概要 「**社会に開かれた教育課程**」の実現に向け、学校と地域の連携・協働を一層推進していくことが重要であることから、学校や地域の求めに応じて支援チームを派遣し、**体制づくりや校内研修、連携活動等への支援を実施する。**
- 3 主催 栃木県教育委員会
- 4 期間 令和2年度から3年間で予定（モデル校は単年度の指定）
- 5 内容
 - (1) 学校と地域の連携推進会議の実施：基本方針の立案や活動の確認、評価・改善を行う。
 - (2) 支援チームの派遣：マイスターを中心とする支援チームが活動支援を行う。
 - (3) モデル校における取組
 - ① 連携会議の実施：モデル校の実施に関する具体的な協議を行う。
 - ② 連携事業の実施：学校及び地域の実情に応じた協働活動を行う。
 - ③ 校内研修の実施：地域学校協働活動の理解を促進するための研修を開催する。



マイスター：学校と地域の
連携・協働に知見のある方

上三川町立本郷中学校（モデル校）の取組

- ・ モデル事業として「**校内及び地域の清掃活動**」を設定し、本活動に関する**学校と地域の目標を共有**するとともに、**地域人材の多様なネットワーク**を構築するため、これまで以上の生徒と教職員、地域の人々が参加するための工夫を行っていきます。
- ・ 事業を実施するにあたり、学校支援コーディネーターと地域連携教員、管理職との良好な関係を生かしながら、地域コミュニティセンターなどの**関係機関等との連携**を図るほか、学校支援コーディネーターの**ネットワークを活用**します。また、コーディネーター歴の長いマイスターの経験等を事業に生かしていきます。
- ・ 本事業の連携会議委員の皆さまを紹介します（敬称略）。1年間、よろしくお願いいたします。
学校：藤田 正義（校長）、瀧澤 弘子（教頭）、野口 幸代（教務主任）、伊澤 幸子（地域連携教員）
コーディネーター：白井 嘉奈子、岡田 幸子、清水 智生 民生委員児童委員：菊地 守人、増淵 盟美
PTA：吉澤 正倫（元PTA会長）、早川 浩史（元PTA会長）、鶴見 圭一（PTA会長）
地域：入江 重徳（町消防団副団長）、氷室 淳子（学識経験者） 河内教育事務所：高田 玄、田中 久之
- ・ モデル事業の様子につきましては、本情報紙においてお伝えしていきます。
- ・ 本郷中学校区にお住まいの皆さま、地域学校協働活動と一緒にしませんか？参加をお待ちしております。

頑張る学校・地域！応援プロジェクトに関する問合せ

河内教育事務所ふれあい学習課 TEL028-626-3183 E-mail:kawachi-fureai@pref.tochigi.lg.jp